
令和元年度まちづくり支援事業 第1回まちづくりわいわい塾 「みんなのまちづくり入門」

平塚市まちづくり政策課

1 実施の目的と概要

平塚市では、平成20年7月より「平塚市まちづくり条例」において、市民のみなさまが主体となって、地区の特性に応じたきめ細かなまちづくりのルールを決めることができる「地区まちづくり」のしくみを定めています。

まちづくりわいわい塾は、平成25年度から「地区まちづくり」のしくみをより多くの市民のみなさまに知っていただくことを目的として開催しています。

公民館区域ごとに各エリアで順に開催しています。令和元年度第1回の今回は、豊田公民館地区にお住まいの方を対象に開催しました。

2 実施内容

(1) 日 時 令和元年11月7日(木) 19:00~20:50

(2) 場 所 豊田公民館 会議室

(3) 参加者 8名

(4) 内 容

- ・ 地区まちづくりのしくみの紹介

お住まいの地区の特性や住民の思いに応じたまちづくりを行うために活用できる「地区まちづくり」のしくみについて紹介しました。平塚市で初めて認定された袖ヶ浜地区の実例も併せて紹介しました。

多少難しい内容もありましたが、多くの方に理解できたとの声をいただくことができました。

- ・ 豊田地区の地域の現状について

豊田地区の人口や周辺のバス路線の状況、土地利用状況の説明を行い、下記のとおり意見交換を行いました。

★主なご質問

(ご質問)

- ・ 地区まちづくりの周知活動は、制度を普及させるために平塚市まちづくり条例が施行されてから他の地域でも行っていると思いますが、その中で現在4つの協議会しか出来ていないのは何故なのでしょう。

(回答)

- ・ 制度の周知については、平成26年から各公民館を回っています。ほとんどの地域は早急に地区まちづくり協議会を発足して解決しなければならない課題があまりないということは聞いています。

(ご質問)

- ・基本的に今まで、まちづくりは組の組織で一定のルールを作り、行ってきました。それが、今回の地区まちづくりは、3000㎡の26宅地程度の単位で新たなルールを作ってしまうという話しだと思えます。そうなってしまうと、せっかく組のルールがあるのに、組の中で小さい計画が何個も出来て、統一性がなくなってしまう恐れがあり、バラバラになってしまうのではないのでしょうか。

(回答)

- ・地区まちづくりのルールについては、まちづくりのルールとまちづくり活動のルールの2つがあり、メインになってくるのが、建物の高さや用途などのまちづくりのルールである都市計画的なものになってきます。平塚市は市街化区域と市街化調整区域に分かれていて、市街化区域の中も用途地域で分かれています。地区まちづくり計画は用途地域で定められている制限を超えることは出来ないで、その制限をさらに厳しくすることとなります。そのため、計画内容が他の地区と大きく逸脱するようなことにはなりません。

(ご質問)

- ・大変な思いをして協議会を作っても、法的な規制がないのであれば、作る意味はないのではないのでしょうか。

(回答)

- ・地区まちづくり計画については法規制はありませんが、地域のみなさんで法規制をかけたいということであれば、地区まちづくり計画から地区計画という制度に変えることが出来ます。いきなり法規制がかかる地区計画を作るのは大変なので、まずは、地区まちづくり計画で運用をした中で、みなさんの合意形成が取れば、地区計画に進むことは出来ます。

★主なご意見

■地域の現状（人口）について

(ご意見)

- ・豊田地区は8つの自治会で構成されています。簗子橋地区は、小学生が2人しかいません。周りが市街化調整区域のため、家が建てられず、人が増えません。先程の説明で豊田地区の人口は、少し増えているとのことですが、実際はそんな状況なので、もう少し細かく見るべきだと思います。
- ・豊田地区の人口が平成29年度から平成30年度で増えた理由は空いた土地を宅地分譲したからです。そのため、豊田地区は、人口が増えているから問題ないという考えではなく、人口減少について5年先や10年先の事を考えなければいけないと思います。
- ・人口減少の原因は、市街化調整区域のため、新しい建物が建たないからです。市街化調整区域から市街化区域に変更する見直しをしなければいけないと考えます。

■地域の現状（バスの状況）について

（ご意見）

- ・バス停から300m以内を示しているとのことですが、資料を見ると、住宅が多い場所にはバス停がなく、平塚伊勢原線付近の住宅が少ない場所にバス停が多いです。
- ・市民病院に行くシャトルバスについてですが、大神地区からの市民病院行きのシャトルバスはありますが、豊田地区にはありません。豊田地区を経由してもらうことは出来ないのでしょうか。
- ・路線バスの本数ですが、18年前よりも現在の方が減っている気がします。そういった公共交通が減ってしまうと、ますます人が減ってしまうのではないのでしょうか。
- ・バスの路線ですが、平塚駅中心なので、南北に行く路線は多いですが、東西に行くバスがありません。東西のバスを増やすことは、やはり難しいのでしょうか。
- ・人口のデータを見てもわかる通り、高齢者が多いので、いずれは運転免許を返納しなければいけなくなります。そのため、公共交通が必要となります。